



「いとこ」って、どうしていうようになったの

「いとこ」が「いとこ」になった

お父さんやお母さんの兄弟・姉妹の子どもをいとこといいます。つまり、おじさん、おばさんの子どもをさすわけです。

いとこ同士は、同じくらいの年齢であることが多く、小さいときから、いっしょに遊んだりしますね。

「いとこ」は、「かわいい」とか、「いとしい」という意味の形容詞「いとし（愛し）」に「こ」がつけられて作られたことばです。つまり、親しい人、愛しい人の意味だったので、す。「いとこ」というのは、親しい人への呼びかけのことばだったので。

それが、いつのまにか意味をせばめて、父母の兄弟・姉妹の子をさすようになりました。

「いとこ」は、性別・年齢によって使い分けて書く

「いとこ」を漢字で書くと、相手の性別・年齢によって、4つに書き分けます。男性で、自分より年齢が上の方は「従兄」、下の方は「従弟」と書き、女性で、自分より年齢が上の方は「従姉」、年齢が下の方は「従妹」と書きます。

また、年齢に関係なく、男性ならば「従兄弟」、女性ならば「従姉妹」と書くこともあります。（監修・田代 脩）

